

ステップ一覧 ○わらべうた編

---

①おちやらかほい Step 1 【みんなで声を合わせて歌おう】～いっぱい遊んでいっぱい歌おう～

Step 2 【歌で追いかけてっこをしてみよう】～つられずに歌えるかな？～

②だるまさん Step 1 【みんなでメロディーを歌おう】～いっぱい遊んでいっぱい歌おう～

Step 2 【メロディーに歌で伴奏をつけてみよう】～とても簡単！繰り返すだけ～

Step 3 【メロディーと伴奏を一緒に歌おう】

～うまくあわせられるかな？ともだちの声をよく聴こう～

Step 4 【伴奏をパワーアップさせよう】～ずらして歌うだけでおもしろい！～

Step 5 【パワーアップした伴奏にメロディーをのせてみよう】

～いろいろな重なり合う声が聴こえるかな？～

③あめこんこん

④前の門さん

⑤いちもんめのいつすけさん

Step 1 【みんなでメロディーを歌おう】～何度も歌って覚えちゃおう～

Step 2 【メロディーに歌で伴奏をつけてみよう】～とても簡単！繰り返すだけ～

Step 3 【メロディーと伴奏を一緒に歌おう】

～うまくあわせられるかな？ともだちの声をよく聴こう～

Step 4 【伴奏をパワーアップさせよう】～ずらして歌うだけでおもしろい！～

Step 5 【パワーアップした伴奏にメロディーをのせてみよう】

～いろいろな重なり合う声が聴こえるかな？～

Step 6 【今度はメロディーもパワーアップさせよう】

～つられずに歌えるようになるかな？～

Step 7 【メロディーも伴奏もパワーアップ！】

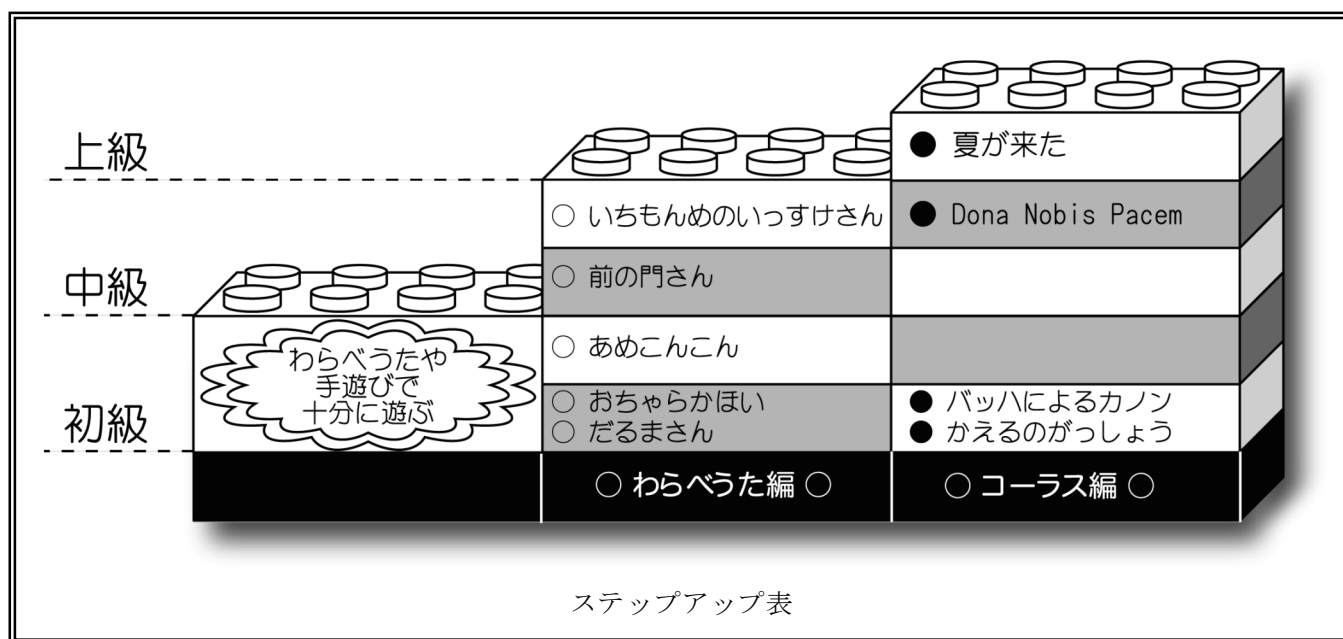
～4つに重なり合う歌声を聴きながら歌えるかな？～

ステップ一覧 ●コーラス編

---

- ①バッハによるカノン Step 1 ユニゾン 【基礎の基礎！正しく歌おう】  
Step 2 2声カノン 【他のパートを聴いて歌ってみよう】  
Step 3 3声カノン 【ハーモニーを感じて歌ってみよう】  
Step 4 4声カノン 【4つに重なり合う声を聴きながら歌ってみよう】
- ②かえるのがっしょう Step 1 ユニゾン 【基礎の基礎！正しく歌おう】  
～隣同士の音に気をつけよう～  
Step 2 2声カノン 【他のパートを聴いて歌ってみよう】  
～音が上がる時も下がる時も正確に歌おう～  
Step 3 4声カノン 【ハーモニーを感じて歌ってみよう】  
～4つのパートが同じピッチで歌えるようになろう～
- ③Dona Nobis Pacem Step 1 ユニゾン 【基礎の基礎！正しく歌おう】～明るくのびのびと～  
Step 2 3声カノン 【他のパートを聴いて歌ってみよう】  
～ずらしただけできれいなハーモニーが聴こえてくるよ～
- ④夏が来た Step 1 メロディーユニゾン 【音の跳躍と音域の広がり注意して歌おう】  
Step 2 オスティナートユニゾン 【短いフレーズを繰り返し歌ってみよう】  
Step 3 オスティナートカノン 【お互いのパート聴きながら歌おう】  
Step 4 メロディーユニゾン 【3つのパートのテンポを合わせて歌おう】  
+オスティナートカノン  
Step 5 メロディー2声カノン 【お互いのパートを聴きながら歌おう】  
Step 6 メロディー4声カノン 【4つのパートの重なりを感じながら歌おう】  
Step 7 メロディー4声カノン 【6つのパートの重なりを感じながら歌おう】  
+オスティナートカノン

## 教材の使い方



- ▼ 初級から取り組むことをおすすめします。学年・校種等にこだわることはありません。
- ▼ 先生や児童、生徒のレベルに応じて、曲やSTEPを選択してください。  
(例：パートを減らす、オスティナートを付けない)
- ▼ わらべうた編・コーラス編のどちらも並行して行うことで、より効果的にステップアップできます。

## カノンを扱うことの意義

### 《CHECK》 歌うときの大切なポイント

- ① 正確なピッチ（音程）で歌うこと
- ② 正確なリズムで歌うこと
- ③ 聴きあって歌うこと

今回はわらべうた編でもコーラス編でもカノン（音楽用語ページ参照）になっているものを扱いました。旋律の模倣が美しく聴こえるためには、各パートが正確な音の高さ、リズムで歌うことが必要です。またカノンは複数のパートで歌うため、他のパートを意識し、音を聴きあいながら歌うことが求められます。これらはうたを歌う上で必要な要素であり、カノンの課題に取り組むことによって、うたを歌うときに必要な基礎的な力を育てることができます。このような力をつけることで子どもたちはただ声を出して歌うという楽しさだけでなく音楽の美しさを感じながら歌うことができるようになるでしょう。そうすることで、子どもたちはますますうたが楽しくなり、更に意欲的にうたを歌うようになると考えられます。